

令和4年度事務事業評価表

事務事業名	生活支援ボランティア			担当課	ボランティア・地域貢献活動センター	事業種別	自主
				担当係	推進係		
開始年度	平成12年度	計画体系	2 区民同士のたすけあい活動を広げます ⇒ (1)地域支えあい活動の充実				
根拠法令等	生活支援ボランティア実施要綱・同実施要領						
事業区分	事業	社会福祉	拠点	ボランティア・地域貢献活動支援事業	サービス	高齢者・障がい者支援事業	
事務事業目的	高齢者や障がい者等日常生活における困りごとを持つ方々に対して、ボランティアを派遣し支援することで、高齢者や障がい者等が地域で安心して暮らし続けることができるようにする。						
実施内容	【概要】 1 対 象 区内在住の支援を希望する高齢者や障がい者等で、支援することが必要と認められる者。 2 内 容 樹木の剪定、室内の清掃、家具の移動、蛍光灯の取り換え、簡単な修理・修繕など、短時間でできる特別な技術を要しないもの。 3 費 用 無料。ただし、交換部品等の費用は利用者負担。 4 謝 礼 支援員に対する費用弁償として、1回300円を支給。						

指標		指標の根拠	単位	区分	H31	R2	R3
成果	活動件数	—	件	目標	200	200	200
				実績	218	140	79
成果	支援員数	—	人	目標	70	70	70
				実績	52	49	40
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

備考	
----	--

コスト内訳(千円)			H31	R2	R3
収入	特定 財源				
	一般財源 (a)		1,006,344	940,200	875,913
支出	事業費 (b)		229,644	163,500	116,413
	職員人件費 (c)		776,700	776,700	759,500
		業務量(人)	0.10	0.10	0.10
	間接費 (d)		0	0	0
	調整額 (e)		0	0	0
		退職給与引当	0	0	0
			0	0	0
			0	0	0
		(控)コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)			1,006,344	940,200	875,913

単位当たりコスト(円)	H31	R2	R3
単位の定義	利用件数(件)		
実績数値 (g)	218	140	79
単位あたり社協単コスト (a/g)	4,616	6,716	11,088
単位あたりコスト (f/g)	4,616	6,716	11,088

実施状況に対する評価	利用者はひとり暮らし高齢者が多く、支援員とのコミュニケーションも貴重な機会となっている。 令和2年度以降はコロナ禍による利用・活動の減少はあるが、地域で困りごとを抱える方に対して地域住民がお手伝いする本事業は、支えあい、ふれあい、たすけあうまちづくりにつながる重要な取り組みとなっている。 多岐にわたる利用者ニーズに的確に応えていくためには、支援員の確保とレベルアップを図る必要があるが、支援員は年々高齢化していること、また、新たな支援員が十分に確保できないことが課題となっている。
今後の方向性【改善】	ボランティア・地域貢献活動センターで開催する講座受講者や窓口来所者などへ積極的にPRを行い、まずは、支援員の確保(増強)を図っていく。 ただし、将来的には、他の取り組み(小地域福祉活動・しあわせサービスなど)の中での実施(再構築)を検討していく。